



地球・人・暮らしの「今」と「これから」に出会う 日本初！環境ビジネスの常設展示場

大阪・南港 大阪環境産業振興センター

おおさかATCグリーンエコプラザ

＜エコプラザカレッジ＞

1
22 水

SDGsを活用して強い会社を創る サステナブル社会を 構築するためのAtoZ

基礎から応用

第8回 「ポストSDGsを見据えた対策」

〔講師〕 サステナ・ハース代表
おおさかATCグリーンエコプラザ環境アドバイザー 立山裕二氏
〔ゲストスピーカー〕 大日本印刷株式会社 様

＜以降の開催日＞

第9回 2/19 (水)
「サーキュラーエコノミーと”もったいない経営”」
〔ゲストスピーカー〕 株式会社ダスキン 様

第10回 3/18 (水)
「社会問題を解決するビジネスについて」

〈時 間〉13:30～16:30 〈定 員〉各回50名 (先着順) ※ご希望の回のみの
〈参加費〉各回1,000円 (当日会場でお支払い下さい) 受講も可能です。
〈会 場〉おおさかATCグリーンエコプラザ内セミナールーム
〈お申し込み〉セミナー係 TEL▶06-6615-5888または
E-mail▶seminar01@ecoplaza.gr.jp

＜エコプラザSDGsセミナー＞ 参加無料

1
30 木

ESG投資から見た SDGs

基調講演 SDGsの時代に求められる企業価値創造
～ ESG金融の視点から～

株式会社日本政策投資銀行 執行役員 産業調査本部副本部長
兼 経営企画部 サステナビリティ経営室長 竹ヶ原啓介氏

講演① エフピコのESGの取組み

株式会社エフピコ 環境対策室 ジェネラルマネージャー 富樫英治氏

講演② 丸井グループの共創サステナビリティ経営

株式会社丸井グループ サステナビリティ部 サステナビリティ担当 チーフリーダー 永井英男氏

【パネルディスカッション】

＜コーディネーター＞竹ヶ原啓介氏 ＜パネラー＞富樫英治氏、永井英男氏

【質疑応答・名刺交換】

〈時 間〉13:30～17:00 〈定 員〉80名 (先着順)
〈会 場〉おおさかATCグリーンエコプラザ内セミナールーム
〈お申し込み〉セミナー係 TEL▶06-6615-5888または
E-mail▶seminar01@ecoplaza.gr.jp



西日本の拠点となる大阪デスクを
おおさかATCグリーンエコプラザ内に開設しております。

エコマーク大阪デスク開設

毎月1回第3木曜日に、エコマークスタッフが駐在し、エコマーク認定取得に関する
ご相談やグリーン購入などの問い合わせに対して直接お答えします。

(相談にお越しの際は、お手数ですが開設週の3日前 (月曜日の17時)までに電話で事前のご予約をお願いいたします。)
〈事務局〉公益財団法人日本環境協会エコマーク事務局 基準・認証課 TEL:03-5643-6253

＜エコプラザSDGsセミナー＞ 参加無料

2
21 金

スマートウェルネスオフィスの 最新動向と取組事例

基調講演 CASBEE-WOの開発概要と今後の展開

千葉大学大学院工学研究院 准教授 林 立也氏

講演① オフィス快適性向上への自動制御アプローチ

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー 環境ソリューション本部
環境ソリューション企画部2グループ グループマネージャー 藤田哲史氏

講演② 組織の新たな価値創造と社員のウェルビーイングを実現
するイートキの新しい働き方「XORK Style(ゾクスタイル)」

株式会社イートキ 営業本部 マーケティング戦略企画室 室長 藤田浩彰氏

講演③ 健康と生産性向上を目指したWellnessオフィスへの取組み

ダイキン工業 空調営業本部 テクニカルエンジニアリング部 杉元康浩氏

【質疑応答・名刺交換会】

〈時 間〉13:30～17:00 〈定 員〉80名 (先着順)
〈会 場〉おおさかATCグリーンエコプラザ内セミナールーム
〈お申し込み〉セミナー係 TEL▶06-6615-5888または
E-mail▶seminar01@ecoplaza.gr.jp

企業・学校・各種団体の皆様へ

団体見学募集中!!

▶入場無料◀

環境ビジネスの「今」と「これから」を一堂に展示！
企業・学校・一般の研修・見学にご利用いただいています。



Eco mark / Green Zone

エコマーク・グリーン購入ゾーン

エコマークは、環境への負荷が少ないと認めら
れたものに付けられるマークです。さまざまな
エコマーク認定商品を展示しています。



Recycling Zone

循環型社会形成推進ゾーン

ごみの減量をテーマに、リデュース・リユース・
リサイクルを詳しく紹介していきます。循環型社
会づくりの可能性を実証します。



New Business Zone

新ビジネス創出ゾーン

植物工場用の自動搬送ロボットをご覧いただけ
ます。

お申込み・お問い合わせ 【専用ダイヤル】TEL.06-6615-5688

パンフレットやプログラムなどのご案内を無料にて郵送いたします。お気軽にご連絡下さい。

出展企業リスト 《出展企業募集中》

＜エコマーク・グリーン購入ゾーン＞

- (公財)日本環境協会
- (株)伊藤園
- イトマン(株)
- (株)イムラ封筒
- (株)エフピコ
- (株)岡田煉瓦製造所
- 資源リサイクルセンター(株)松田商店
- 中央産業(株)
- (株)ファイン
- ＜エネルギーと環境ビジネスゾーン＞
- 大阪ガス(株)
- 関西電力(株)
- (株)島津製作所
- ＜すまい・省エネゾーン＞
- 【すまい】
- (株)アイティエヌジャパン
- アズビル(株)
- (株)一条工務店

- AGCガラスプロダクツ(株)
- (株)エクセルシャノン
- エンデバーハウス(株)
- おおさか健康省エネ住宅推進協議会
- (株)兼久
- 協立エアテック(株)
- ゼロコン(株)
- タミヤ(株)
- デュボン・スタイロ(株)
- (株)トーコー
- (株)ニチベイ

- 日本板硝子ビルディングプロダクツ(株)
- 日本住環境(株)
- (株)ノーリツ
- パラマウント硝子工業(株)
- 福井コンピュータアーキテクト(株)
- フクビ化学工業(株)
- (一社)Forward to 1985 energy life
- (株)マーベックス
- ローヤル電機(株)
- 【省エネ】
- 大阪府立環境農林水産総合研究所

- (株)コムウエル・フジサワ
- 日本エコ照明(株)
- 日本エコシステム(株)
- 日本管財(株)
- ＜新ビジネス創出ゾーン＞
- (株)アサヒベン
- 伊東電機(株)
- 木村アルミ箔(株)
- (株)キワプランニング
- (株)三雅工芸社
- (株)トラスト・システム

- (株)中村製作所
- ものづくりビジネスセンター大阪(MOBIO)
- ＜循環型社会形成推進ゾーン＞
- (株)インテアアクション
- コニカミノルタ(株)
- 公益財団法人自動車リサイクル促進センター
- 大栄環境(株)
- 野村興産(株)
- (株)パレットハウスジャパン
- (株)マックマシンツール
- NPO法人 もく(木)の会

- (株)笑緒一
- ＜環境・防災ゾーン＞
- (株)一条工務店
- LLPユニバーサルデザイン企画
- 第一コンテック(株)
- (株)日本政策投資銀行
- (公財)地球環境産業技術研究機構(RITE)
- (地独)大阪産業技術研究所
- 大阪 水・環境ソリューション機構
- カナダ政府 大阪通商事務所

- ＜環境教育ゾーン＞
- (株)アイゼン
- NPO法人エコデザインネットワーク
- カゴメ(株)
- (一社)国際科学教育協会
- サラヤ(株)
- (一社)JBRC
- 凸版印刷(株)
- 阪神高速道路(株)
- ミズノ(株)
- (公財)大阪みどりのトラスト協会

- ＜IATCゾーン＞
- 伊東電機(株)
- 因幡電機産業(株)
- オリックス・レンテック(株)
- 中西金属工業(株)
- ＜特別展示コーナー＞
- アモノ・コーポレーション(株)
- (株)エクシング
- NTN(株)
- エプソン販売(株)
- (独法)国際協力機構 関西センター

- (株)共和
- 堺化学工業(株)
- 山陽製紙(株)
- (株)菅組
- (一財)電気安全環境研究所
- 東京書籍(株)
- (株)日版製作所
- (株)平井真美館
- 山形開発工業(株)
- ロックベイント(株)
- (株)ブリッジソリューション

- ＜コーポラティブオフィス＞
- NPO法人イー・ビーイング
- NPO法人エコデザインネットワーク
- 大阪グリーン購入ネットワーク
- (一社)関西ESCO協会
- (公社)空気調和・衛生工学会
- (一社)建築設備技術者協会
- NPO法人建築設備コミッション協会
- (株)ジオ生物環境
- 2・フィールド(株)
- (株)ブリッジソリューション

おおさかATCグリーンエコプラザ ＜主催＞おおさかATCグリーンエコプラザ実行委員会(大阪市・アジア太平洋トレードセンター株式会社・日本経済新聞社)

お問い合わせ

TEL.06-6615-5888 / FAX.06-6615-5890

＜開館時間＞AM10:00～PM5:00 (月曜日・年末年始休館)
〒559-0034 大阪市住之江区南港北2丁目1-10 ATCビル11F西側

詳しくは、ホームページをご覧ください！

グリーンエコプラザ

検索

メールマガジン 登録受付中
http://www.ecoplaza.gr.jp



当館は、環境保全に関する
普及啓発のシンボルとして、
エコマークを使用しています。